

# 卒業していく34回生へ



「笑」の一文字を胸に、未来へはばたけ34回生

## 34回生サッカー部 卒業から「人生の勝利者」へ

滝川第二高等学校サッカー部 監督 松岡 徹

34回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。高校生活は、充実した3年間になりましたか？34回生の担任を3年間してきた学年なので、非常に思い出があります。3年生にとっては、HR、授業、練習等で常に私の顔を見続けることが多く、注意などされることも多かったのが嫌だったのではないのでしょうか？ただ、今となっては本当に34回生サッカー部員に感謝しています。

2017年9月に1週間台湾遠征(怪我で不参加者もいました)現地の選手同士の試合・交流だけでなく貴重な経験を含め有意義な1週間を過ごすことができました。3年間の試合結果だけではなく、台湾遠征で学んだこと。最終日に行った十分のランタン。各々の想いを希望に満ちて空高く飛んで行った思い出します。

今後は、34回生の「笑」から将来に向けて「人生の勝利者」になって笑ってください。これからも滝川第二高校サッカー部のモットー「怯まず・驕らず・澁刺と」を忘れずに・・・ 今後の活躍を期待しています。3年間ありがとうございました。

## 兵庫県高校サッカー選手権試合結果

◎10月20日(日) 2回戦

滝川二 3 - 0 市西宮  
(千原2、青木)

◎11月2日(土) 準々決勝

滝川二 0 - 1 県西宮

◎10月26日(土) 3回戦

滝川二 4 - 0 神港学園  
(千原、大村、熊崎、福田)

# 第98回全国高校サッカー選手権大会 兵庫県大会

3年 口石典明

新人戦やインターハイの悔しさを経て、1ヶ月以上前から素晴らしい環境で選手権に向けて準備してきました。

しかし、準備の質という部分で自発的に準備をしていくことはできなかったと振り返っています。公式戦では勝てばいいという気持ちが皆あり、内容までは改善できていないことが多いと思います。選手権もトーナメントなので、勝たないと次には進めないけど、内容もともにもっと突き詰めていかないといけなかったなと思います。

でも、最後の大会ということで3年生が必死になって全員で取り組みました。その熱量で自分はじめみんなが1年間取り組むことができればもっと変わっていたのかなと感じています。僕は自分に負けていました。なので今の選手は毎日を必死に生きてください。3年間はあっという間に終わります。しんどいこともあると思うけど、自分に負けずに精一杯頑張ってください。

どんな時でも応援してくれた保護者、選手、スタッフの皆様に感謝しかありません。

滝川第二高校に入学し、3年間34回生のみんなとサッカーができて幸せでした。本当にありがとうございました。



ここが勝負だ！俺に任せろ！



守りきる！

# ニューバランスカップ(裏選手権)

## ◎1日目

滝川二 1 - 0 帝京第三A  
(滝川二 5 - 1 帝京第三B)

## ◎2日目

滝川二 3 - 0 日体大柏A  
(滝川二 1 - 5 日体大柏B)  
滝川二 3 - 0 帝京安積A

## ◎3日目

決勝トーナメント1回戦  
滝川二 3 - 0 暁星A  
(滝川二 1 - 1 藤枝東B)

決勝トーナメント2回戦  
滝川二 3 - 2 履正社A

## ◎4日目

決勝トーナメント 準決勝  
滝川二 1 - 0 桐光学園A

決勝トーナメント 決勝  
滝川二 1 - 0 東海大仰星A  
(滝川二 3 - 1 浜松開誠館B)

2年 松本 祐 満

結果は優勝という結果に終わり、チームとして自信になった部分が大きかったと思います。メンバーが変わってもコンスタントに勝てたし、ベンチメンバーの声であったりチームとしてまとまりがあった大会だったと思います。

7試合中6試合無失点で予選から負けなしで上がったというのは大きな収穫で、初戦がとても大事と話していて勝ち切れたことも大きかったし、そこから勢いに乗れたと思います。それでも失点して崩れていってもおかしくなかったシーンやポストに当たって助かったりジャッジであったり運もあったと思います。

収穫もあった中で課題もでて、チャンスが多い中で決めきれなかったり、結果は勝っても相手に支配されていた試合もあって、勝っている時のサッカーのしかたというのを見直さないといけないと思いました。自分達は勢いの部分で勝てたけど、技術の部分で正直負ける部分は多かったと思います。今大会で自信にはなったけど、過信にしましては意味がなくて本来この大会にでたこと自体が正解ではなかったと思うし、この大会にいるべきはずではなく全国の舞台で戦っていないといけないはずだったと思います。

今大会で感じたこと学んだことをチームをプラスの方向に向けられるように活かして行って、全国で勝ち進んで行けるようにしたいです。



「裏選手権」初優勝！



取らせるか!!

# 〇〇 自分の夢へ向かってGO!! 〇〇

34回生の3年間の思い出を掲載します。

## 滝川第二生活

3年 丸岡海輝

僕の高校サッカー生活は、11月2日に準々決勝で負けて終わりました。そして、負けた時に僕がいたのはピッチではなくスタンドでした。怪我でも、出場停止でもなく、ただただ自分の実力不足でスタンドで同じ学年の仲間、後輩が必死に戦っている姿を応援していました。3年間でトップチームで試合に出場したのは数える程。全くと言っていいほど不甲斐ない結果でした。全て、自分の甘さが招いた結果だと自負しています。

僕は中学生の頃、滝川の明るさ、全国大会で勝ち進んでいく姿への憧れ、家を離れ寮で過ごすことで今後の人生に繋がるものが得られるという考えを持ち、遠い千葉県からでしたが、決意して入学してきました。1年生時は、環境の違い、寮での生活、後輩としての仕事など、毎日を忙しくあっという間に過ごしていきました。

2年生時は、後輩も入ってきて、Bチームでしたが、試合に出場する機会も徐々に増えました。でも、冬の選手権メンバーには入れませんでした。

3年生時は最後の年、新人戦は怪我で棒に振り、インターハイは5分の出場のみ、選手権は0分。県リーグ1部の出場時間も0分。滝川第二高校という場所で、目に見える結果を出すことは出来ませんでした。僕はサッカーでも、日常生活でも、何ができて、何ができなかったのか、考えて、改善して、また挑戦するといった事が大切だと考えています。しかし、それを3年間継続する事はとても難しいことです。僕はこれを継続させることが出来ませんでした。これができていたら、もっと違う結果になっていたかもしれないという後悔もあります。

そして、僕が後輩に伝えたいことは、トップチームで試合に出場する事、活動する事に意味があるということ伝えたいです。Bチームで得られる事もたくさんあると思いますが、Bチームでいくら結果を出そうが、それはBチームの結果ということです。Bチームからプロサッカー選手は出ません。世間から注目されるのはトップチームの結果、当然トップチームを中心にチームが動きます。だから今、トップチームでプレーしている選手は継続、Bチームでプレーしている選手は、何がなんでもトップチームでプレーして欲しいと思います。今年は選手権も優勝できると思っています。滝川第二の選手なら必ず出来ます。応援しています。



最後に、3年間支えてくれた家族、監督、スタッフ、父母会の皆様、後輩にとっても感謝しています。ありがとうございました。特に、34回生の皆、みんなと過ごした時間は人生の宝物です。ありがとう。

# 後悔

3年 中島 和

滝川第二での3年間はとても長いと思っていましたが、本当にあっという間でした。1年生の時はとても怪我が多くほとんどサッカーが出来ませんでした。でも怪我をしたからこそサッカーができることが当たり前ではないということに気づくことができ1日1日の練習を大切に取り組むことができました。でも自分の弱いところはそれが継続できないというところでした。このぐらいだったらいいかと少し手を抜いてしまう、でもそのちょっとが積み重なりとても大きなものになり自分は結局大事な試合に出ることは出来ませんでした。自分がこの3年間を通して後輩に伝えたいことは自分が最後引退したときに悔いが残らないようにしてほしいということです。そのためには1日1日の練習を全力でやるのはもちろん毎日練習が終わった後に今日自分は全力でやれたかと振り返ってみてください。絶対に自分には嘘がつけないので分かるはずです。そうすることで最後どんな結果に終わっても後悔はしないと思いますと言いたいのですが、絶対に最後は後悔します。あの時あーしていれば点が取れた、あの時こうしていたら失点せずに済んだ、でも自分がやれることを全てやってする後悔と何もしないで後悔するのでは全然違います。僕は後者だったので引退した今後悔がすごいです。なので1、2年生には同じ気持ちにはなって欲しくないの、サッカーが出来ることを当たり前だと思わず毎日を一生懸命取り組んでほしいと思います。引退してからなぜ自分たちは無冠で終わってしまったのか考えることがよくあります。1番は自分たちの代は仲がとても良かったことです。仲が良いことは悪いことではありません。でもそれがサッカーになっても同じだったので自分が思っていることを相手に言えないという人が多すぎました。もう1つはチームで決めたことを最後までやれなかったことだと思います。例えば部室の掃除、練習後のミーティングなど結局継続することが出来ませんでした。そこが強いチームと弱いチームの差だと僕は思います。後輩に言いたいことは1つです。継続は力なりと口で言うのは簡単です、それを行動に移して継続させてください。そうすることができれば自然と結果もついてくると思います。



# 自分を貫く

3年 原田 隆 矢

この3年間は自分にとっていろいろなことを学べ、大きな経験になりました。

最初は下手くそで何もできない選手でした。周りからも馬鹿にされ続けた日々でした。そう言われるのが悔しい1年間を過ごしました。そこから高校生活で成功といえる活躍はありませんでした。総体や選手権ではメンバーにも入れず、トップチームのピッチに立つこともできず、何ひとつ結果を残すことができませんでした。高校サッカー人生失敗だったと言わざるを得ない結果になりました。しかし、成長した部



分や学ぶことがたくさんありました。入学当初は何もできなかった自分が、何かしようと考えて行動できるようになりました。さらに、自分の意志や芯を強く持つことの大切さを学びました。チームや周りに合わせることも必要だけど自分らしく楽しんで取り組むことが1番大事だということも学びました。また、1人の人間として大きくなったと思います。これから自分が目指す場所を考えると実力はまだまだです。もっともっと高みを目指して、1日1日意志を持って行動することを大切にしようと思います。

今までありがとうございました。

# 僕にとっての滝二とは

3年 多田 雅彦

おそらくこの34回生の中で滝二愛が強いのは僕です。

僕は中学時代に初めて滝二を見たときに受けた衝撃と憧れが今でも忘れられません。あの日から僕は滝二でサッカーしたいと思いつけ続けていました。今となってはこうして滝二を卒業しようとしています。その当時は滝二に入るなど夢のまた向こうでした。というのも、僕は身長がとても低く、トレセンなどとは無縁の選手でした。また、学業の面でも親とかなり厳しい条件のもとでサッカーを続けさせてもらう約束をしていたので滝二はまずダメだろうと思っていました。それでも滝二に行きたかった僕は身長を伸ばすこと勉強で1番になることを徹底しました。また、藤森コーチとの出会いもあり、キーパーとしても成長させていただきました。これでもかというくらいでやっと滝二に入ることができたのです。

そのような思いで入った滝二は勿論周りは上手で練習の強度も上がりきつかったかもしれませんが、とても楽しかったです。この環境で競えるのがとても嬉しかったから苦にならなかったのです。

一つ、思い残すことがあるとすれば怪我です。

新人戦に出してもらい自信もついた矢先、インターハイ前に怪我をして夏は近畿も出ませんでした。その時藤森コーチが練習中に「今ここで必死になって冬は自分が出るんだという気持ちにならないと本当に後悔する」と言われて本当の意味でスイッチが入りました。そして、順調に行きプレーも悪くなかった選手権前の関大北陽戦で相手のスライディングがお腹に入って中で出血し入院。このときは落ち込みました。なんでなんやろとずっと思いました。ただ、回復も早く県の決勝には戻れることになりました。だから、素直にチームには本当に勝って欲しかったです。明日復帰という日の準々決勝でチームは負けて僕にその明日は来ませんでした。だから、怪我は1.2年生はよく注意してください。一瞬で全てが変わります。

そうして終えた滝二サッカーでしたが、とても充実していました。自分と向き合いながら過ごして、人としても成長できたのだと思います。

滝二を目指した中学生生活、滝二で過ごした高校生活、この18年生きてきた中で6年つまり人生の3分の1は滝二から影響を受けてきました。感謝したいです。ありがとう滝二!!



# 滝二で一番学べた事

3年 山田 裕幸

僕はこの滝川第二高校で3年間辛い思いや嬉しい思いを沢山してきました。サッカーでは怪我が多く思ったようなプレーが出来ない時期や結果を出せなく試合に出場する事が出来ない事もありました。そのたびに何故出られないのか、今自分に何が足りたのか、と考えました。それを朝練や残練で補ってきました。それでも結果は変わらず最後の選手権ではメンバー外となり、これまでやってきた事は無意味だったのかと痛感しました。考えが甘かったとその時気づきました。あの時の想いは絶対忘れる事ができません。

後輩の皆さんには、毎日手を一切抜く事なく一生懸命サッカーしてほしいと思うのと、どのような事をすれば試合に出て活躍することが出来るのか毎日考え工夫し自分に厳しく練習してほしいと思います。

あの時感じた事を忘れずに大学生生活でも怯まず奢らず澁刺と頑張っていきたいです。



## 滝二でのサッカー

3年 片山大地

滝川第二での3年間が終わりました。「全国に出て活躍する」と入学前に自分が思い描いた理想とは程遠い結果となってしまいました。結果は無冠。1度も自分の憧れていた全国のピッチには立つことが出来ませんでした。この高校に来て勝って当たり前のチームで勝つことの難しさや今までには感じなかったことばかりでした。1年の時は先輩に萎縮してしまいサッカーをすることが怖かったです。でも、自分達の学年だけで行った台湾遠征はすごく充実しました。2年では試合に出る機会が増えましたが自分が得意ではないポジションでの出場でした。プリンスリーグで関西のトップの選手と試合を行い自分の今までの甘さを肌で感じました。そして、ただガムシャラにボールに食らいつくことしかできませんでした。3年になっても得意ではないポジションでの出場でした。仲間や後輩を代表して試合に出場していると思うと、自分に自覚と責任がでてきました。なので自分の本当の気持ちを言えずに自分だけで抱え込んでいました。結局、自分は何も行動することができずにチームも負けてしまい後悔が残る高校サッカーになってしまいました。でも、この高校に来たからこそ分かったこともあります。「サッカーを楽しむこと」・「自分の信念を持つこと」これが自分には無かった高校サッカーでした。

そして、自分は良い仲間に出会うことができました。仲間と過ごした毎日が自分にとっては思い出です。「滝川第二」という名門でサッカーができたことを誇りに思います。そして、副キャプテンもやらせてもらい人として成長させてもらいました。

最後になりますが滝川第二のスタッフや家族、自分を支えてくれた人たちにはとても感謝しています。滝川第二の選手ではなくなってもずっと滝川第二のサッカー部を応援します。3年間お世話になりました。



## 必死のPATCH

3年 槌谷倫太郎

今思えばこの3年間とても早かったように感じます。色々な先輩達がこう言っていました、本当にあっという間の3年間でした。僕は3年間、新人戦、総体、選手権のほとんどの試合に出れませんでした。選手権を目指して滝二に入学しましたが、選手権に関しては1秒も出れませんでした。でも、こんな僕でも全く後悔などしている事はありません。試合に出る為に「こうすれば良かった」「ああすれば良かった」と思う事はありませんが、その時の自分が持っている力を全て出しての結果だと思っているので後悔している事はありません。今はもっと出来たと過去を振り返っても過去の自分からするとそれがMAXの力なのです。だから先輩達には卒業する時に後悔しない為に、日々燃焼して欲しいと思います。



夢と目標を持つ事が大事だと思います。僕はBチームで過ごす時間が長かったので、より夢や目標の大切さを実感しました。Bチームにしていると不満に思う事も理不尽だと思う事もかなりありますが、そう言う時に夢や目標が助けてくれます。僕が試合に出れなくても前向きにポジティブに練習を取り組めたのは夢や目標があったからです。試合に出れてなくても夢や目標に近づく事は出来ます。だからBチームの選手は前向きにポジティブに必死のPATCHで頑張ってください！

滝二サッカー部での成功よりも、自分自身の成長を求める事が良い結果を生むと思います。

# 3年間を終えて

高校3年間が終わりました。

悔いがないとは言えません。

怪我が悩まされたり、出れない時があったりして、怪我がなかったら、あの場面で違うことをしていればと思うことが多々あります。

ですが、後悔しても変わることはないし自分の実力不足なので受け止めたいと思います。

自分のことを快く応援してくれた親、自分がここまで来るのに色々なサポートをしてくれ、携わった人達に感謝を忘れず、これから色々な形で恩返しをしたいと思います。

3年 熊崎秀亮



## 「笑」

3年 森川恵多

滝二では「怯まず驕らず澁刺と」プレーすることや試合に勝っても負けても滝二らしく終わることを学びました。また、「ほんの少しの違い」の紙を5枚程いただき頭に叩き込むことができました。3年間で振り返ってみると、楽しいことや嬉しいことよりも辛いことや苦しいことの方が多かったように思います。また、悔しい結果に終わることが多く、競技成績では納得のいく結果を残すことができませんでしたが、滝二に入学して良かったです。滝二に入学する前の中学3年生の時は、正直3年間応援することになるのだろうと思っていただけ、仲間との出会いは自分にとってとても良い刺激となりました。1年時の春から夏にかけては周りのレベルについていけず、先輩方に怒られる日々の練習や試合が嫌いだった時期には怒られ過ぎで泣きそうになった日もありました。また、精神的にも未熟だったため言い訳をして諦めてしまうこともよくありました。特に1年の頃のダブルボックスはとても嫌いでしたが、仲間と切磋琢磨する中で少しずつ自分に自信が持てるようになりました。1年時の印象に残ってる試合は阪南とのグロイエンです。あの試合に勝った時はとても嬉しかったですし、これが下克上かって感じでした。滝二では人間的にも成長することができたと思います。また3年間で気づいたことは、私生活とサッカーは繋がっているということです。ゴミが落ちていないことに気づいて捨てるなどのほんの些細なことの積み重ねが試合にプレーとして現れました。自分がピッチに落ちていないゴミを拾った試合はゴールを決める謎のご褒美がありました。報いの為に良い行いをするわけではないですが、色々なことに気づいて行動に移すことはとても大切だと思いました。また、挨拶の面では滝二だからこそ習慣づいたと思います。人との繋がりを大切にしているところも滝二の良いところだと思います。高校3年間の夢はプロになることだったけれど、3年生のインターハイ後に高校では無理だと気づき、大学選択にも時間がかかりました。大学サッカーでは、今まで以上に辛いことや苦しいことを経験することになると思うけど、プロサッカー選手になることを通過点として生涯を通してサッカーをしていきたいと考えています。また高校3年間の悔いを晴らすための準備をしっかりしていきたいです。また、1・2年生には悔いなく充実して高校サッカーを終えてほしいと思っています。3年間の最後は「笑」って終わることが出来たと思います。この学年は個性の強い選手が多いので日常生活でも笑うことが多かったと思いますし、34回生に出会えてとても良かったです。





## 三年間を振り返って

3年 田中 維 祈

三年間を振り返って自分が得たことは仲間を信じるということはずごく大切なことだということです。

私は3年生の時に怪我でほとんどサッカーをできていませんでした。選手権の時もできていませんでした。負けそうだなと思う試合でも仲間を信じて応援していたら勝てた試合もありました。

結果的に全国大会に行くことは出来ませんでしたけれどすごく良い経験になりました



## 3年間を終えて。

3年間の高校サッカーが終わり、僕自身、もう少しみんなとサッカーがしたかったというのが本音です。でも、滝川第二高校に入学して本当に良かったです。僕が苦しい時期でも常に上を向いて励ましてくれた仲間、僕のためを想って声を掛けてくださった指導者の方々のおかげで少しずつ前を向くことができました。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

大学では、サッカーができる喜びを誰よりも感じながらプレーしたいです。そして、皆さんに良い報告ができるように頑張ります。本当に3年間、お世話になりました。

3年 池 尾 遼乃介



## 3年間を振り返って

3年 青 木 啓 真

私は滝二に来てよかったなと思います。私は3年間ケガが多かったです。1年生の時から選手権メンバーに入らせていただいていたいい経験ができましたが選手権の時も怪我をしてチームに帯同するだけで練習や試合をすることはできませんでした。それでも一緒に帯同することでチームの雰囲気や一体感を味わうことができました。2年生ではケガが多くBチームで試合や練習することが多かったです。そこで自分の甘さや弱さを感じることができました。練習終わりにケアをする時間があるのに友達と話したりして自分の体と向き合えなかったからケガが多かったと思います。3年生では自分が勘違いをして自信ではなく慢心をしていました。慢心とは簡単に言うと驕りがあることです。それを気づかせてくださったのがスタッフの方々でした。そこで気づいたからこそいまの自分がいると思います。滝二は合宿やミーティングが多いと思いますがそれは全て自分達のためになると思います。やっている時はめんどくさいし長くて早く帰りたいとか眠りたいとか自分は感じてました。ミーティングはサッカー以外のビデオを見たりサッカー以外のことを話すことが多かったです。けどそのミーティングではサッカー以外のことから人間性や人としての

の生き方を学べたと思います。自分達でするミーティングでは発表したりすることが多かったけどあまり意見が出ない時や同じ人が発表することが多かったと思います。そういう時にみんなが意見を言うように工夫してすることもあってよかったと思います。自分は3年生になって感じたことは自分が1年生の時よりもONとOFFの差がなくなってきていると感じてました。自分達しか2つ上の先輩を見ていないのにそれを伝えられなかった自分達の責任だと思っています。だからいまの選手達は仲良くするのはいいけどONとOFFをつけるのは難しいけどしっかりとつけるといい練習ができて試合にも勝っていけると思います。



# 結果が全て

3年 中島祐希

僕は中学で出場機会に恵まれず、高校で絶対活躍するという気持ちで滝川第二に入りました。しかし、選手権では最後の試合でピッチに立てず、チームとしても良い成績を残せませんでした。

自分では高校3年間努力したつもりでいました。でも結果が出なかった。自分の努力が足りなかったし、考えも甘かったと思います。何より寮に入れさせてもらって、沢山のサポートしてくれた家族には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。勝負事において結果が全てなのだ改めて実感しました。



でも中学の時は自分が試合に出れなかったらチームのことはどうでもよかったし、負けてしまえと思う時もありました。でも高校では素直に応援できたし、自分が出れない分頑張っただけで欲しいと本気で思いました。滝二良いチームでした。その分勝ちたかったです。

大学に行ってもサッカーを続けるので悔しい気持ちを忘れず結果を求めたいと思います。

# 夢

3年 千原颯太

3年間たくさんの事を経験し学びました。滝川第二に来て良かった事は、プロサッカー選手になる事を再確認できたことです。

サッカー部に入った当初は、プロサッカー選手になる事が夢だったけど、練習や高いレベルのチームと試合などをして、自分の実力では、プロは無理だと思いつつ、入学当初のようなサッカー選手になりたいという気持ちがなくなってきました。

しかし2年生の時、当時ヴァッセル神戸の監督であった、吉田監督が、滝川第二に来て、「プロになりたい子？」という質問をしました。その時25人いて、24人挙げていませんでしたが、1人だけ挙げていました。森川恵多でした。その時本当に凄い奴だと思いました。誰に何を言われても、気にしないで自分の夢の事を考えている姿にカッコいいと思いました。

そこから、プロになる為に滝川第二に来たということを再確認することができ、練習では、スタメンになる為の練習ではなくて、試合に出て活躍してプロのスカウトに見てもらえるような選手になる為の練習をするようになりました。自分達の代はプロになりたい人が多くいたので、こいつには負けたくないと思う人が多く練習もバチバチで楽しかったです。

滝川第二に来て沢山の学びがあったです。



# なんとかならなかった滝二人生

3年 中谷俊介

僕は滝二でサッカーをするプレイヤーの中で恵まれたプレイヤーだと感じています。1年生の頃は全国大会のメンバーに選んでもらえて2年生、3年生は投票で選んでもらえてプレーできました。最初は監督やコーチも僕に期待してくれているのを実感しながらプレーをしていました。しかし僕は誰1人の期待にも応えられるようなプレーはできませんでした。その上、自身は謙虚な気持ちも忘れてプレーしていました。心のどこかで「なんとかなる」と思い中途半端な残練を続けていました。滝二で得たことは、この世界は「なんとかなる」と願い、「なんとかなる」ほど楽な世界じゃないということ。中途半端では何も得られないということ。もう一つ謙虚さを忘れると信頼されるプレイヤーにはなれないこと。



# いい経験をした3年間

3年 岡本 倅汰

自分は1年生の時はトップチームに関わることがほとんどなくて悔しい時期を過ごしました。2年生になってからはだんだんにトップチームに関わることが増えて行き、インハイは応援でしたが選手権ではメンバーに選んでもらうことができました。最後のピッチにも立たせてもらえて、この悔しさを自分の代で活かしていこうと思いました。そして3年の時は試合に出させてもらえました。でも4月に怪我をしてしまいインハイも選手権も出ることができませんでした。三年間振り返ってみて最後は出ることができなかったけどそれはそれでとても良い経験になり、大学で活かしていければいいと思います。1、2年生には2つあります。1つ目は怪我のケアはできる限りやり尽くすと言うことです。ケアをしてない怪我はほんまにもったいないし、後悔すると思います。2つ目はいつ自分になが起きるか分からないということです。だから1つ目もそうだけど今出来ることを全力でやってほしいです。あたりまえのようなことだけど難しいことです。そして三冠できるように頑張ってください。



# 「この経験を糧に」

3年 大村 陸人

この3年間で多くの経験をし、学ぶことができました。

1年生の時は自分がどうしたらトップチームに入ることができるのかということだけを考えてサッカーをしていました。言い方を悪くすれば自分のことだけ考えていました。結果としてずっと下のカテゴリーだったけど、この時の指導のおかげでサッカー的に一番成長できた1年だと思っています。

2年生の時は新人戦に絡むことができました。でも1番出たかったインターハイ、選手権はメンバーにも入ることができませんでした。同級生のみんなが試合に出ている中、自分は応援することしかできず悔しい気持ちでいっぱいでした。この1年は怪我もあり、思うようにいかないことばかりで1番辛い時期でした。

3年生では副キャプテンになり、インターハイ選手権を経験していない自分が引っ張っていくことができるのかと不安でした。最高学年になり、自分のことだけじゃいけなくなりました。どうしたらいいかわからないとよくなりました。ただ、試合に出場するという目標だけ達成できたという感じです。でも、新人戦、インターハイ、選手権と無冠。特にインターハイは自分がPKを外して自分のせいで負けました。自分の力不足を感じました。インターハイ、選手権はメンバー外の選手だったり、応援してくれている人達の為にプレーしたけど、結果で恩返しは出来ませんでした。でも、出れなかった選手の気持ちを考えてプレーするっていうのは今までサッカーをしてきて考えたことがなかったので、良い経験となりました。

このように3年間多くの経験をしました。結果を見ると本当に弱い代ですが、この結果を素直に受け止め、これからの人生のモチベーションにして、熱量持って生きていきたいと思っています。

3年間ありがとうございました。



# 自分がやれること

3年 井上大地

僕は3年間、滝川第二高校サッカー部でサッカーをすることができて本当に良かったと思うし、大切な時間だったなと思います。嬉しいことや楽しいこと、辛いことなどサッカーでも私生活でも色々なことが経験できたと思います。僕の3年間は、結構辛いことが多くて逃げ出したいと思うこともよくありました。でも、その時こそ自分が強くなるチャンスだと思ってこれまでやってきました。その支えになってくれたのは、親やチームメイト、友達だったので本当に感謝しています。

34回生にはミーティングで言ったことがあるのですが、僕は人がやりたくないこともチームのためにやると決めました。そして、自分がやれることをチームのために精一杯自分なりにやれたことは良かったと思います。後輩のみんなに言いたいことは滝川第二高校でこのメンバーでサッカーをやれるのは、この3年間しかないのだから、仲間を大切に自分がやれることを思いっきりやってほしいなと思います。

34回生で目標を達成することはできなかったけれど、僕はみんなと滝川第二高校で過ごした3年間は本当に楽しかったです。ありがとうございました。



# 感謝

3年 口石典明

滝川第二高校という素晴らしい高校に進学させてもらい、3年間支援してくれた両親、そして、3年間指導してくれたスタッフの皆さん、自分に関わってくれた全ての人に感謝しています。

ありがとうございました。

また、2年生には副キャプテン、3年生にはキャプテンをやらしてもらい、とても充実した3年間を過ごすことができました。しかし、2年続けて結果を出すことはできませんでした。小学生の時から目標にしてきた全国大会に出場し、プレーすることは叶いませんでした。でも、それ以上に人として成長できたと思っています。

責任やプレッシャーを背負って2年間取り組みましたがまだまだ甘かったんだと振り返ります。

なので、今の後輩達には後悔がないように頑張ってもらいたいです。でも、毎日を一生懸命やり切るのは簡単だけど、難しいことだと思うので、これくらいいいや、今日はいいやなど、一人一人が自分に負けないようにしたら絶対強いチームになると思います。

後輩達には自分達の代を反面教師にして、また強い滝二を取り返してほしいです。

本当に3年間ありがとうございました。



# 高校サッカーを終えて

3年 本間 捷太

3年間の高校サッカーを終えて、私が現在感じていることは、この仲間でこれからもまだサッカーをしたいということです。この3年間私は怪我がちで皆とプレーをする機会が多くありませんでした。結果、今は物足りない気持ちでいっぱいです。

そしてこの3年でこんな私を応援し続けてくれた両親に尊敬と感謝を感じています。両親を見て自分の将来の目標ができ、大学を決めました。自分の尊敬する人に近づけるようこれからも頑張ります。



## 「悔」

3年 尾崎 辰太郎

この3年間は題名の通り悔しかった3年間でした。チームとしても個人としても結果が残せなかったのでこの一文字にしました。1年生の時はグロイエンでいっぱい負けて、公式戦にもなかなか絡めず悔しい一年でした。2個上の先輩が選手権で負けて新チームになってからも新人戦とかには絡めなくて、焦りがあったので親にもお願いして心機一転寮に入りました。そこからは自主練とかも沢山したつもりだけでただ単にボールを蹴っただけで、自分の課題を見つけて考えて努力することをしていなかったからなかなかうまくならなかったのかと思います。それは普段の練習でも一緒にどれだけ相手をイメージして、練習したりできてなかったから個人として成長できなかったと思います。あと、自分は体調不良や怪我でサッカーができなかった時期も沢山ありました。そんな時間はすごく無駄だと思うので日々ケアをしてからだにきをつけて欲しいです。自分の体は自分にしかわからないので、無理する時、無理しちゃいけない時しっかり自分の意志で決めてやってほしいです。無理のしすぎはよくないけど高校生活の時間は短いから多少の無理はきかしてがんばってほしいです。チームとして結果が出なかった原因としては自分みたいなBチームの選手がどんどんAチームに絡んでいけなかったのがチームのしている波に乗れなかった1つの原因だと思います。だから来年以降はそういう選手たちが一生懸命頑張ってどんどんAチームで出れるように頑張ってください。



と思うのでそれをしっかり掴み取れるように日々の練習を大事にして頑張ってください。いつもやることが大事な場面で発揮されると思います。だから、サッカーを一生懸命考えて頑張るのはもちろんだけど、学校生活も意識して毎日意識高く過ごしてほしいです。この3年間は悔しく後悔を沢山しました。2年生の時にはふてくされて無駄な時間を沢山過ごしました。どんなことがあっても1.2年生はくじけずどうやったら試合に出れるか考えて頑張ってください。どんな選手でも必ずチャンスはやってくれると思います。自分が後悔しない道を日々選択しながら、新しく入ってくる1年生を含め全国で勝てるチームになれるように頑張ってください！！

# 滝二での3年間

3年 北田尚摩

滝二での3年間はとても濃い3年間でした。

1年生の時初めて練習に参加した時こんなにレベルが高い選手がいる中でサッカーができる喜びを感じたと同時にこの中でメンバーに入るといふ厳しさを感じました。メンバーに入るためには誰よりも努力しないとイケないと思ひ励んでいましたが怪我をしてしまい半年無駄にしました。その時とても悔しくてサッカーができない辛さを学びました。しかし、サッカーを外から見て自分に足りない事などを知るいい機会になりました。

2年生の時は県リーグ1部の試合に出させてもらう機会が増えレベルが上がり自分の武器でもあるスピード一つだけでは通用しなくなり苦しい時期がありました。しかし、仲間達から良いアドバイスを貰い成長することができ通用する場面が増えました。仲間に感謝しかありません。

試合に出る事が増えたと同時に周りから認められないとキツイ意見を言われたり感じたりする事が多くなりました。けど、お父さんやお母さんからそんな事気にする前にサッカーの楽しみ何のためにやってるのかを考えよって周りから言わせておけばいいと言われ気持ちが楽になりサッカーを楽しむ事ができたと思います。



3年生は最後の高校サッカーで全国に行くために日々努力してきました。勝ちが続いた時や負けが続いた時いろんな時期があったけど全国に行くため兵庫県で1位になるために頑張ってきました。しかし、総体、選手権共に全国に行く事が出来ずとても悔しかったです。でも、自分は滝川第二に入って良かったなって思っています。他の高校では学べない事やいい仲間と出会いとても良かったと思います。これからサッカーを続けていく中で滝川第二で学んだ事は決して無駄にはならないと思うしこの悔しい気持ちも糧に大学でも上を目指してサッカーをしていきたいと強く思いました。

## 「一生の思い出」

私は中学生の頃、冬の全国選手権で滝川第二の試合を見て、身近でサポートしたいと思ひ、滝川第二に入学しました。私は1年生の1月の後半から入部し、途中からということもありとても不安でしたが、みんなが快く受け入れてくれてとても嬉しかったです。

みんなで海に行ったこと、毎日一緒に練習したこと、バレンタインでみんなにチョコをあげたこと、誕生日を祝ってもらったこと、どれも本当にいい思い出です。失敗ばかりで辛く大変なこともたくさんあったけど、皆の温かい言葉や笑顔のおかげで最後まで頑張ることができました。

皆と全国大会に行くことは出来なかったけど、皆と過ごした日々は私にとって本当に宝物で、一生の思い出です。滝川第二に入って34回生を一番近くでサポートできたこと、本当に幸せでした。皆のサッカーしている姿が本当に大好きでした。

3年間本当にありがとうございました。

3年 柏木梨花



# 48大会

## ◎試合結果

滝川二 3 - 0 安芸南  
滝川二 0 - 1 東海大高輪台  
滝川二 0 - 1 SC相模原  
滝川二 2 - 0 帝京長岡

滝川二 1 - 0 前橋商業  
滝川二 0 - 3 帝京第三  
滝川二 1 - 2 東海大翔洋

## 2年 木出昂希

強化合宿を終えての遠征で、合宿でやってきた速くゴールに向かうことや、吉田さんに教えてもらった攻撃での幅の使い方だったりを意識して臨みました。

結果としては3勝4敗と負け越しで全国の相手にいい勝負が出来ても勝ち切ることができない自分たちの甘さを痛感しました。

2日目は雨も降っていて、ピッチコンディションも悪い中での試合でいつもとは違う環境での試合も経験することができました。

課題としては、パススピードが遅くて相手にスライドされて攻撃ができなかったり、中盤での守備の緩さや攻守の切り替えの遅さなど課題も多かったです。

しかし、ポジションごとでミーティングを行ったりして、各ポジションからの要求だったりを話し合うこともでき、それぞれの思いを共有することもできました。

この遠征を通して、経験したことを次に繋げていきたいと思っています。



抜ききってやる！

# 浜名湖遠征

Bチームという立場で浜名湖遠征に参加させてもらって全国有名なチームと試合をさせていただきました。

どこのチームも個の能力が高くすごくプレースピードが早かったです。

試合に出させてもらって自分の通用するところと通用しないところが明確になりました。

自分の武器はもっと伸ばしてそれだけではなく通用しなかった部分も強い相手に通用するようにこれからの練習の一日一日を大切にしたいです。

## 1年 平岩航汰



どんな相手か楽しみや～

# コパ成立

## ◎予選リーグ

滝川二 0-6 成立学園  
滝川二 1-1 川崎フロンターレ  
滝川二 1-1 アルビレックス新潟

## ◎順位決定リーグ

滝川二 1-4 湘南ベルマーレ  
滝川二 1-0 アスルクラロ沼津  
滝川二 0-1 東山

## 2年 奥 涼 介

8月15日から17日まで静岡県で開催されたCOPA SEIRITZにチームは参加した。結果的には予選リーグは0勝2分け1敗で4チーム中3位で折り返し、順位決定リーグは1勝2敗で結果16チーム中11位という非常に情けない結果で終わってしまった。この大会では自分達は3年生なしの1・2年生のみで大会に挑んだ。新たなチームとしてのスタート、勢いをもって勝ちたいという気持ちで大会に参加したが初戦の成立学園に0-6でボコボコにやられてしまった。この6失点、敗戦が大きく響きその後も納得いく結果が出ず、結局この遠征で勝ったのはたったの1試合だけだった。そして得点力不足もかなり響いた。この大会で2得点を決めた試合は一度もない。このスコアを見て誰もが感じると思うが明らかに自分達の得点力不足、チャンスをものにできない、今でも自分達の変わらない部分でもある。成立学園戦は相手のほとんどは3年生だったがそんな言い訳は通用しない、3年生だろうが関係ない、自分達のやるべき事をしっかりやっていたら負けるはずがない。やはり初戦は本当に大事なものでこれからの試合にも大きく影響するものであって、そこで勝ちきれなかったのは大きな1つの要因でもあると非常に感じる。この大会では3つのJリーグのチームと戦った。しかしどの試合でも自分達は先制に成功することができた。勝つ試合がほとんどであってほんの少しの気の緩みが失点に響いた。Jチームでも自分達が通用する部分はたくさんあった。実際にはもう2、3点入ってもおかしくないゲームもあった。やはりそこでしっかりゴールネットを揺らせるか揺らせないかが勝利への鍵となるはず。それは今後も続くはずだ。大事な場面でゴールを決めることができれば恐らく自分達は負けることはないだろう。逆に守備でも1vs1の対人で負けなかったり試合時間を通して声を出し続け相手に隙を見せなければ失点することはないはずだ。自分達は攻撃でも守備でもこれでもかというぐらい何度も何度も練習してきた。上手くいったりいかなかったりしてお互いに大きく成長することができた。これから新人戦・インターハイ、そして選手権と大きな大会が自分達を待っている。もしかしたら初戦でつまずいてしまうこともあるかもしれない。それでも自分達がこれまでやってきた事を信じて互いに支えあってやっていけば絶対に勝てるはずだ。自分を信じて仲間を信じて、怯まず・驕らず・澁刺と滝二らしくこれからも頑張っていていきたい。



そのボールは俺が絶対にとる！



みんなの力で奪った1点！



# 県リーグ

## ◎県リーグ 試合結果

滝川二	0 - 4	神戸弘陵B	滝川二	0 - 0	ヴィッセルB
滝川二	2 - 0	三田学園B (岩澤、岡本)	滝川二	7 - 0	三田学園B (片山2、福田、永川、藤田、黒井、千原)
滝川二	0 - 0	神戸科技	滝川二	2 - 1	芦屋学園 (千原、永川)
滝川二	2 - 3	芦屋学園 (眞古、熊崎)	滝川二	2 - 0	神戸科技 (藤田、眞古)
滝川二	1 - 2	県西宮 (岩澤)	滝川二	2 - 0	神戸弘陵B (千原2)
滝川二	3 - 1	ヴィッセルB (岩澤、北田、福田)	滝川二	1 - 3	県西宮 (千原)
滝川二	1 - 1	市尼崎 (千原)	滝川二	1 - 0	市尼崎 (千原)
滝川二	1 - 3	報徳 (眞古)	滝川二	1 - 2	報徳 (藤田)
滝川二	1 - 1	関西学院 (眞古)	滝川二	2 - 0	関西学院 (北田2)

最終順位 5位

### 3年 片山大地

1年でのプリンス昇格を果たすことができませんでした。開幕から常に怪我人が多く1年間を通してチームの力不足を感じるリーグ戦でした。来年には県リーグを優勝し、プリンス昇格できるように毎日の練習を大切に頑張ってもらいたいです。



さあ、チャンスメイク!

# 四中工交流会

## 四日市中央工業との交流会を振り返って

### 1年 黒井海舟

長年に渡り続いている四中工との交流は両校共にサッカーをしながら、お互いに高め合い、楽しむことができた2日間でした。

1日目はトップチーム、セカンドチームに分かれて試合をしました。天候が悪く中々思い通りのプレーができなかったところもありましたが、実際に四中工のトップチームはセンターバックのヘディングが強く、中盤でのゲームコントロールに苦戦し、サイドのスピードに圧倒され、チームとしても自分自身も力試しのできた対戦でした。

2日目の学年対抗では初めて1年生全員が揃って試合をすることができました。グロイエンで対戦した時には負けていたので全員で勝ちにこだわりプレーしました。結果は引き分けとなりましたが、これからの繋がる良い経験になりました。

対戦相手としてはお互いに切磋琢磨しましたが、応援合戦などを通してコミュニケーションを取ることもできました。来年度の交流会でも、お互いがチームとして高め合える良い機会になればと思います。



このままドリブル突破!

# 令和元年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

## ◎ 神戸市高校サッカー新人戦

### 2回戦

滝川二 4 - 0 神戸鈴蘭台  
(奥、斎藤、渡邊、相原)

### 3回戦

滝川二 6 - 0 兵庫高校  
(元津2、浦上、田中、松本、中塚)

### 準々決勝

滝川二 3 - 0 須磨友が丘  
(相原3)

### 準決勝

滝川二 4 - 0 星城  
(木出、福田2、真古)

### 決勝

滝川二 2 - 0 神戸科技  
(OG、永川)

## ◎ 兵庫県高校サッカー新人戦

### 2回戦

滝川二 2 - 1 神戸高校  
(岩澤、真古)

### 3回戦

滝川二 2 - 2 蒼開高校  
(松本、木出)  
PK  
3 - 4

## 兵庫県高校サッカー新人戦、神戸市高校サッカー新人戦

### 2年 真古大輔

神戸市高校サッカー新人戦では無失点で優勝する事ができました。選手権で負けてからあまり時間はなかったが自分達の中でやろうとする意識を高く持ち練習する事ができていました。全員が高い意識の中で一からスタートし、一試合一試合重ねるごとに成長できたと思います。

兵庫で圧倒して優勝すると目標にしていたが、三回戦で自分達の甘さが出て敗退してしまった。ニューバランスカップをとって満足をしていたのか、初戦の試合前の雰囲気であったりとチーム全体が試合に挑む覚悟をもってできていなかった結果だと思っています。どんな形であろうが勝たないと意味がないと思います。でもその中で今回負けて気づけた事もあると思います。だからこそこの悔しさを忘れる事なく、インターハイに向けてチームとしてもっと何が足りなかったのか一人一人が考えて自分達の目標である「圧倒」を実現させるために日々の練習から突き詰めてやっていきたいです。



俺の前でシュートは打たせない！



「よいこ！よいこ！よいこ！」

# 新役員のおいさつ

## 【2020年度 父母の会 役員名簿】

会 長	寺田 孝宣	広 報	山路 司義
	恵美		智恵
副 会 長	阪本 章裕		博紀
	藤田 悟郎		里美
	亜希子		俊介
書 記	伴場 孝洋	広報(補佐)	祐紀子
	真美		康史
本部会計	馬場 大輔		佳代子
	式子		修一
学年会計	梶間 由佳		雅美
会計監査	多田 愛弓		知樹
			あゆみ
			敏行
			美季
			栗飯原 功
			啓子

新役員の方々、  
一年間宜しくお願いします。

## 新会長のあいさつ

新会長 36回生 寺田 健人 父 寺田 孝宣

2020年度父母の会会長を務めさせていただきます寺田と申します。

どうぞ宜しくお願い致します。今まで諸先輩方が築き上げた素晴らしい伝統を受け継いで参ります。父母の会、会長を引き受けるに当たり責任が重く不安であります皆様にご協力頂き精一杯楽しく務めさせていただきます。選手の皆さんにはサッカーや高校生活を悔い無く楽しく送って欲しいです。監督やスタッフの皆様には日々熱心な活動に感謝申し上げます。そして全国制覇の目標が達成出来ますよう松岡監督をはじめコーチ、スタッフ、選手、マネージャーさんのサポートを全力で努めて参ります。滝川第二高校サッカー部そして父母の会皆様がチーム一丸となり目標達成したいです。どうぞ皆様方のご協力お願い申し上げます。令和の新しい時代に滝二サッカー部の名を全国に響かせたいと思います。

OBの皆様方、関係者の皆様方には滝川第二高校サッカー部をいつも心温かく見守って頂き御礼申し上げます。今後ともお力添え頂きますようお願い致します。



